



BEPPU UNIVERSITY

令和 7 年度

雇用主アンケート調査結果報告書

令和8年 1 月 7 日

別府大学

はじめに

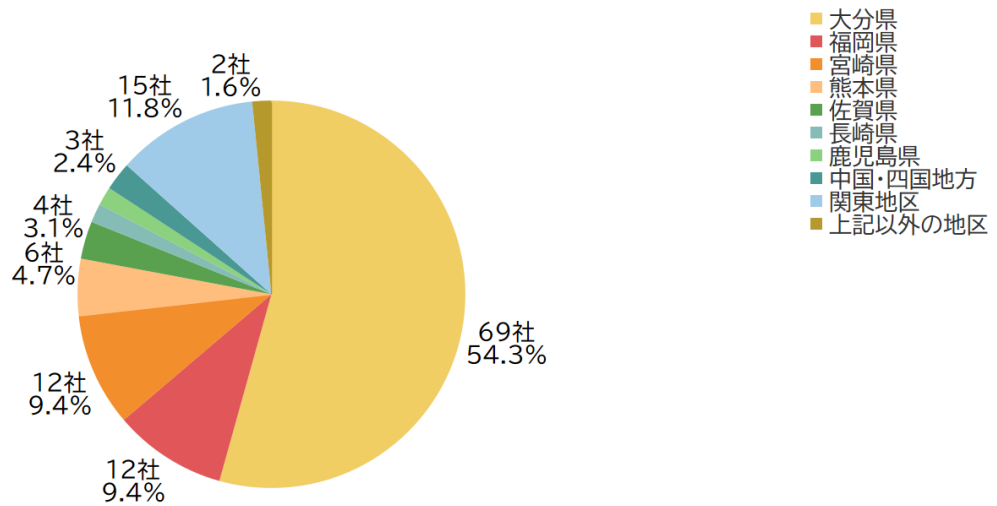
令和 7 年度は、アセスメント・ポリシーに基づく「地元社会・産業界からの『外部評価』」として、卒業生の就職先での卒業生に対する評価を把握するためアンケートを実施しました。その結果、依頼に対して 128 件の回答(未回答の設問有)が得られました。今回の調査は、就職した学生の学部・学科を問わずに行っているため、学科ごとの DP 達成度を測ることはできませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた企業・団体の関係者に感謝申し上げます。今後この結果を教育改善に活用し、高等教育機関である大学の教育の質保証に繋げていく所存です。

雇用主アンケート調査結果

問1. ～問6. は、主に回答いただく企業の状況について質問

問1. 本社所在地(127 件の回答)

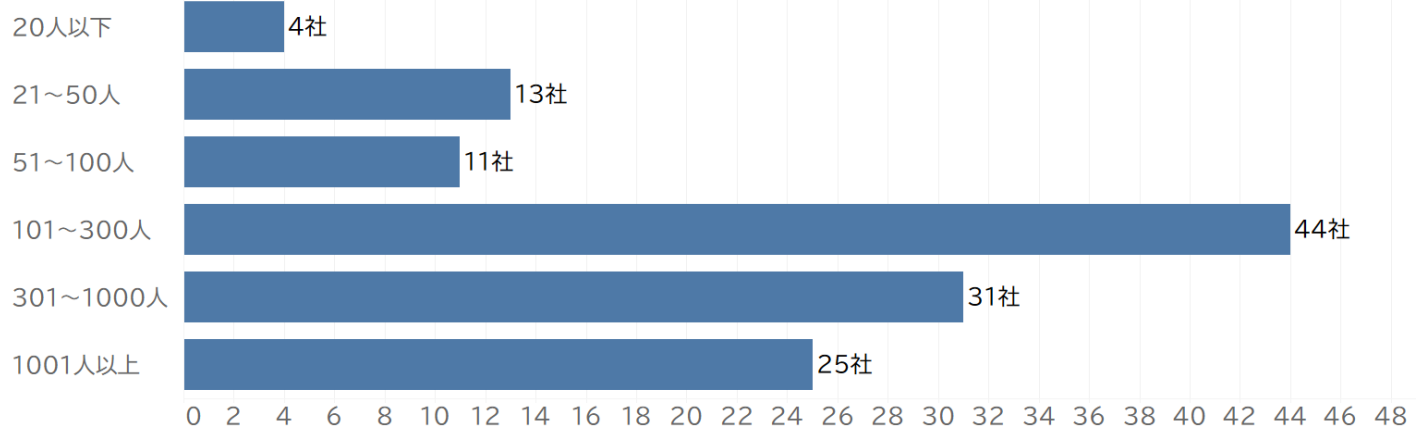
問1. 本社所在地



問2. 従業員(職員)規模(128 件の回答)

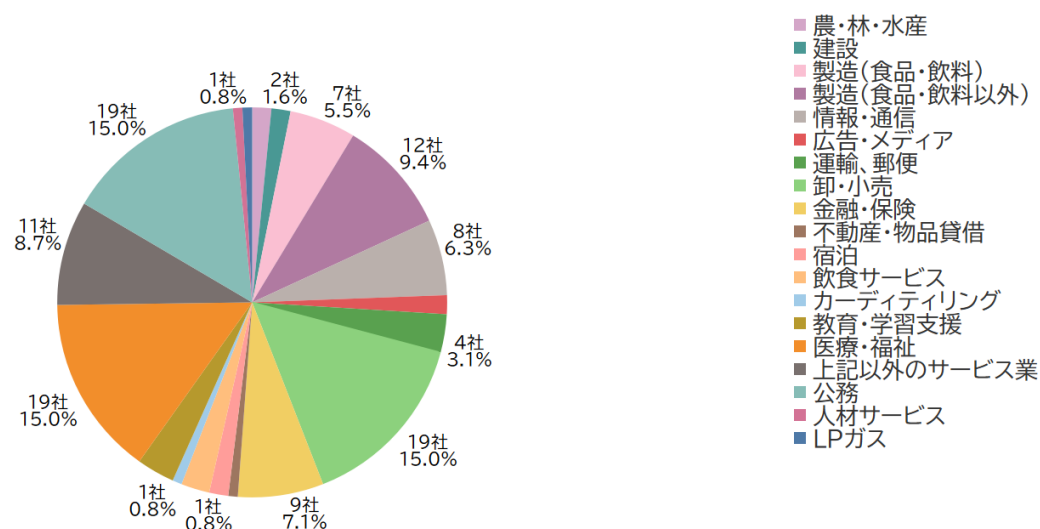
問2. 従業員(職員)規模

問2. 従業員(職員)規模



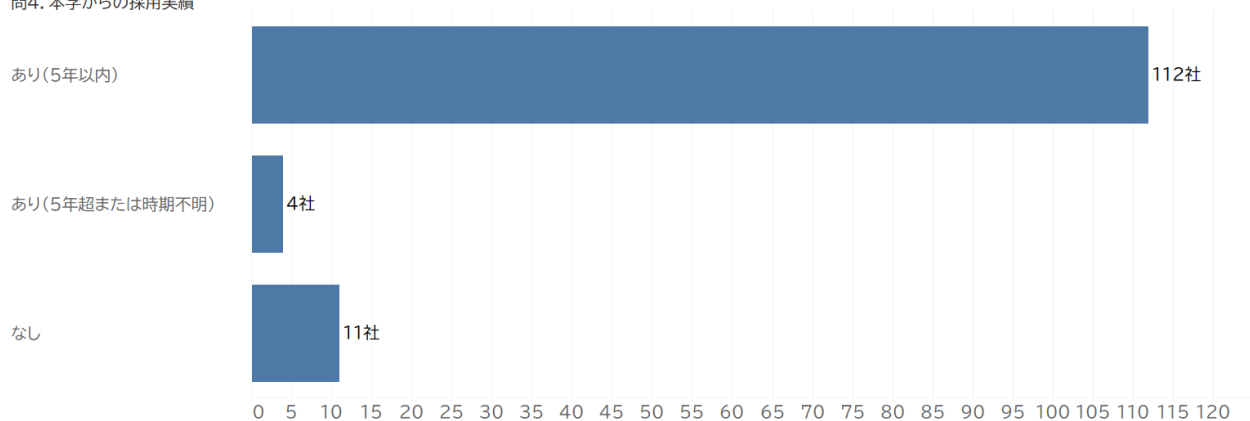
問3. 主たる業種(128 件の回答)

問3. 主たる業種

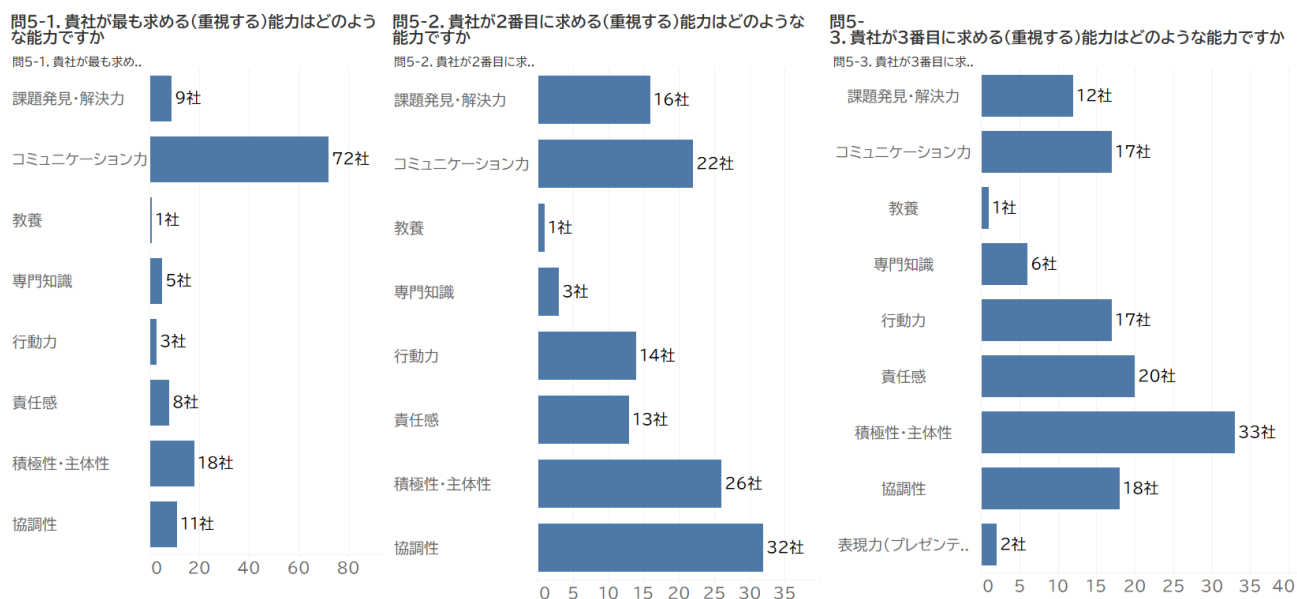


問4. 本学からの採用実績(127 件の回答)

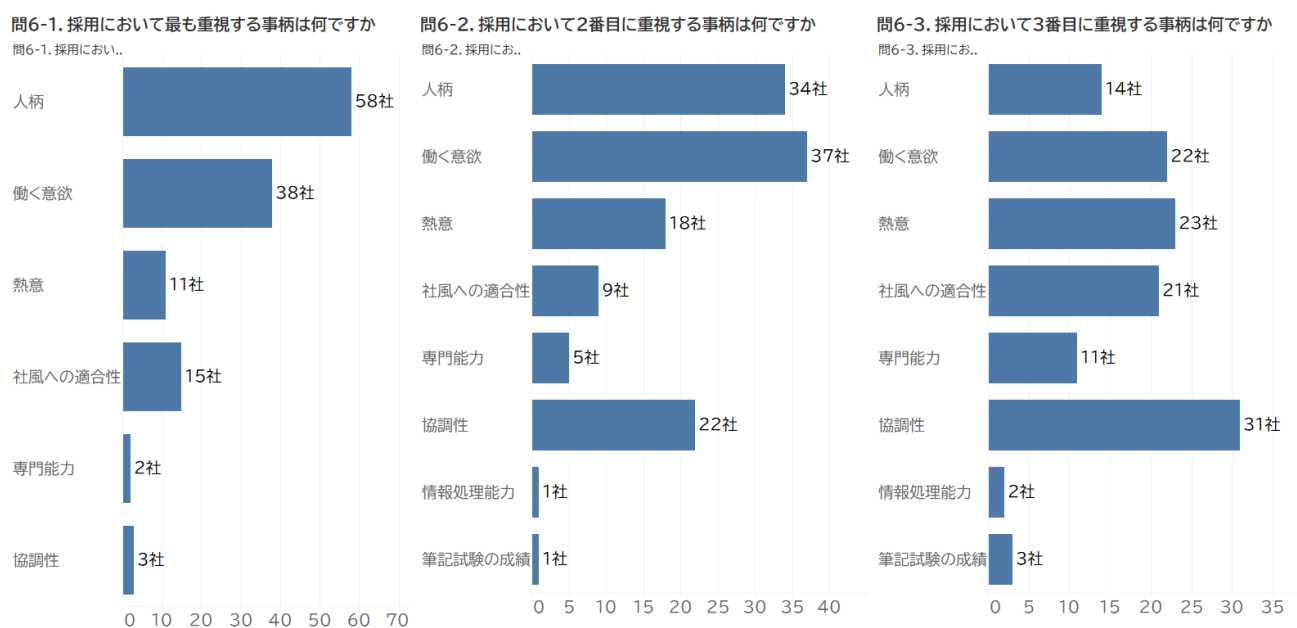
問4. 本学からの採用実績
問4. 本学からの採用実績



問 5-1. 貴社が最も求める(重視する)能力はどのような能力ですか(127 件の回答)、問 5-2. 貴社が2番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか(127 件の回答)、問 5-3. 貴社が3番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか(126 件の回答)



問 6-1. 採用において最も重視する事柄は何ですか(127 件の回答)、問 6-2. 採用において2番目に重視する事柄は何ですか(127 件の回答)、問 6-3. 採用において3番目に重視する事柄は何ですか(127 件の回答)

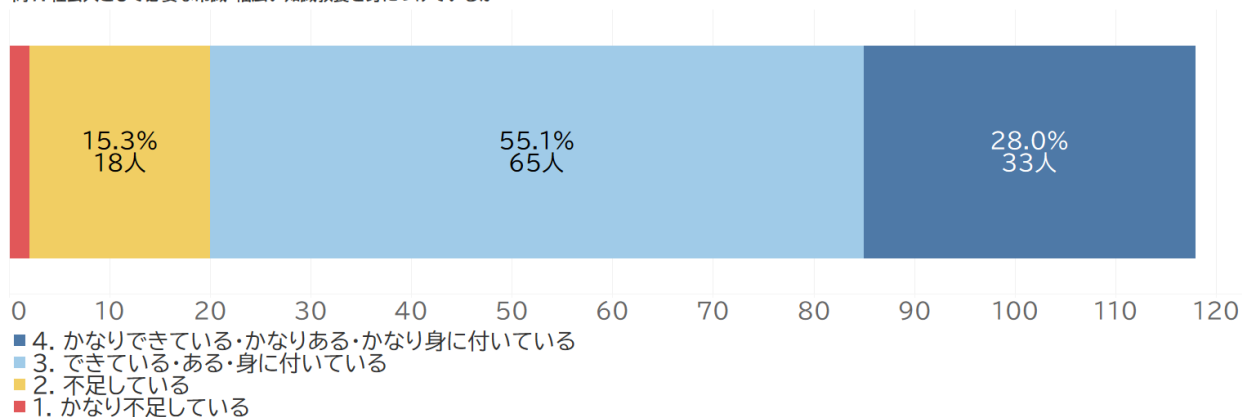


(問7. ～問16について1～4で回答してください)

[不足している]から[できている・ある等]を、1から4の数値で回答(1が最低評価、4が最高評価)

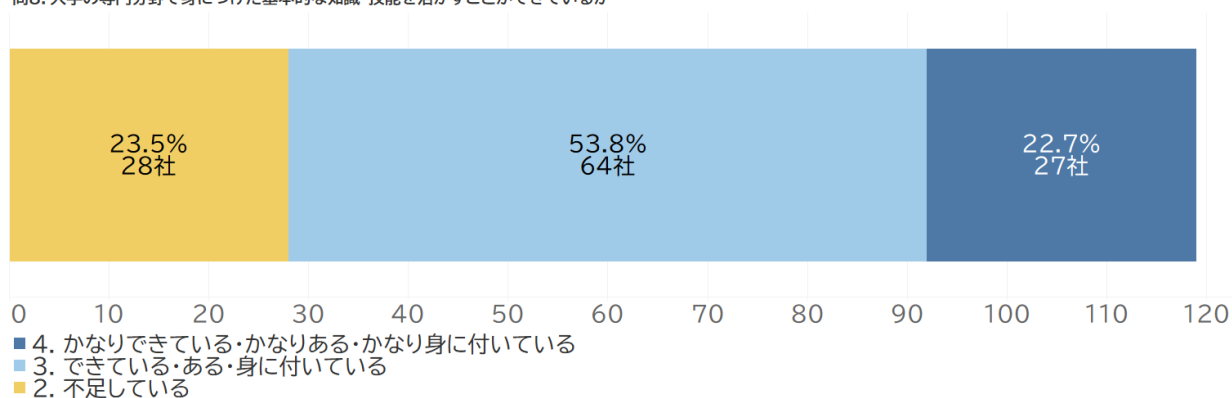
問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか(118 件の回答)

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか



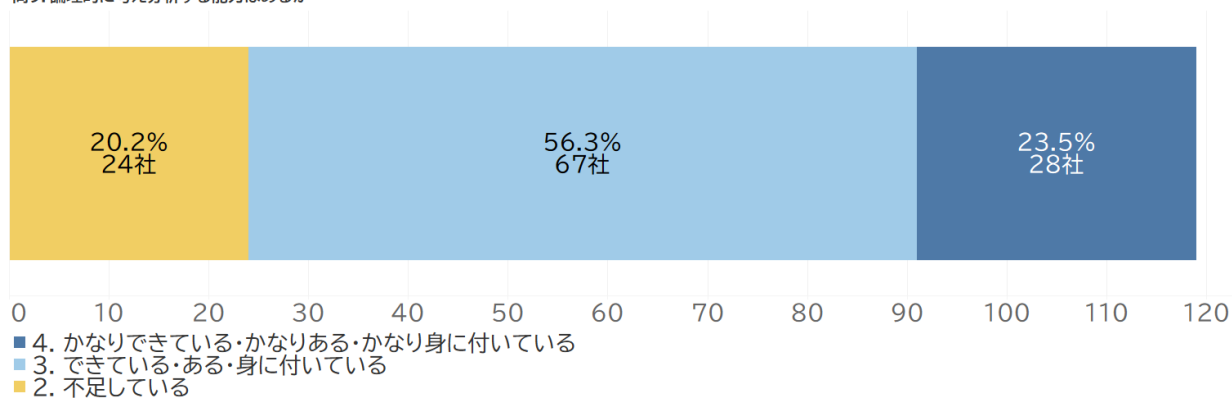
問8. 大学の専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができるか(119 件の回答)

問8. 大学の専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができるか



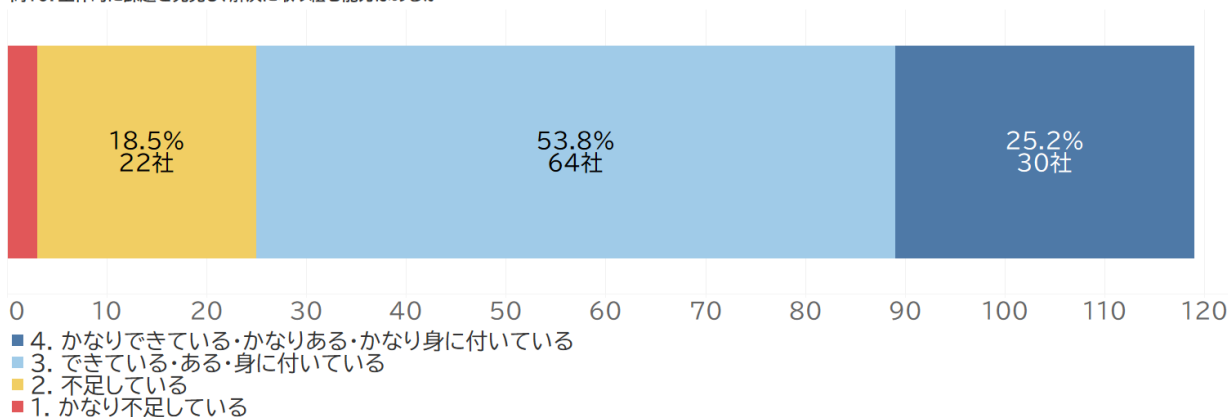
問9. 論理的に考え分析する能力はあるか(119 件の回答)

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか



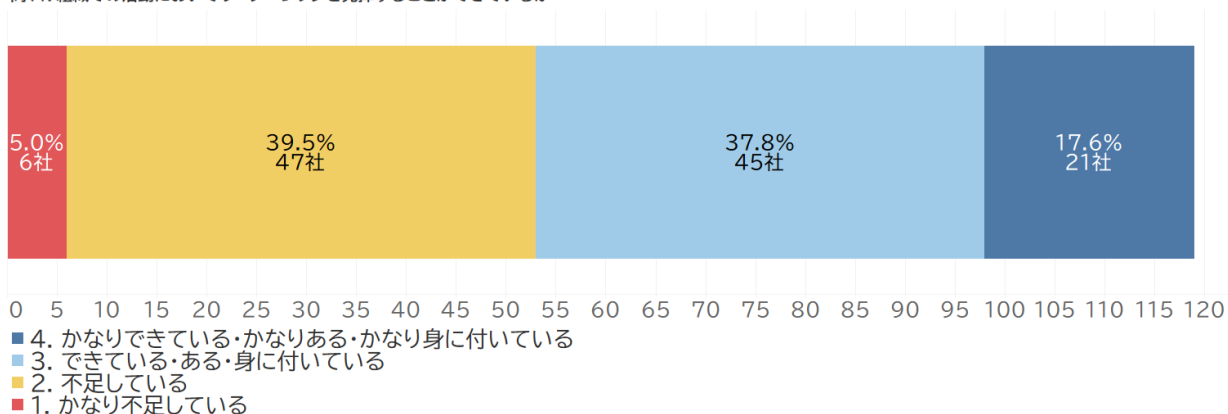
問 10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか(119 件の回答)

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか



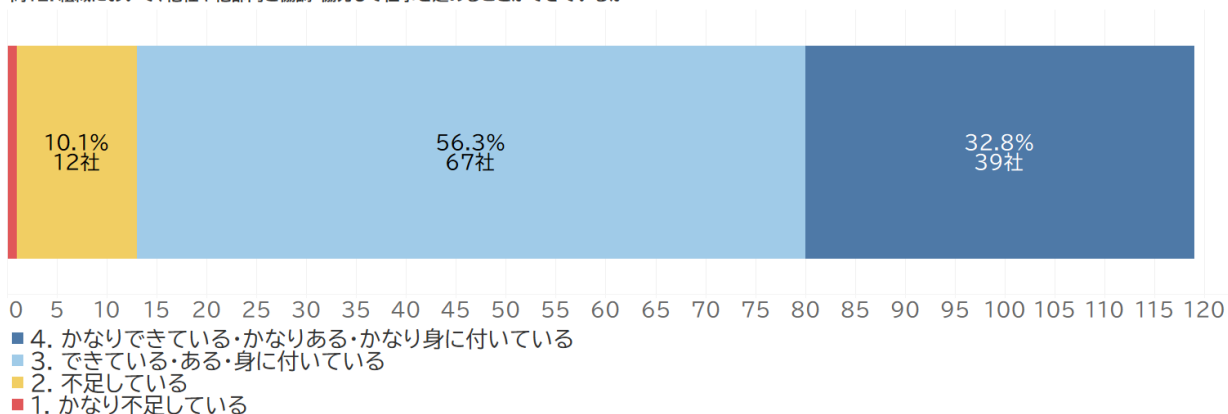
問 11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか(119 件の回答)

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか



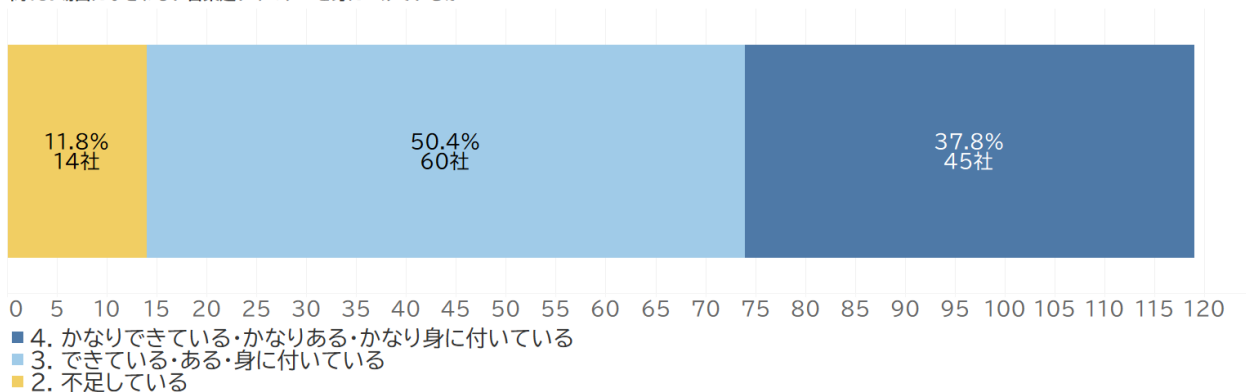
問 12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか(119 件の回答)

問12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか



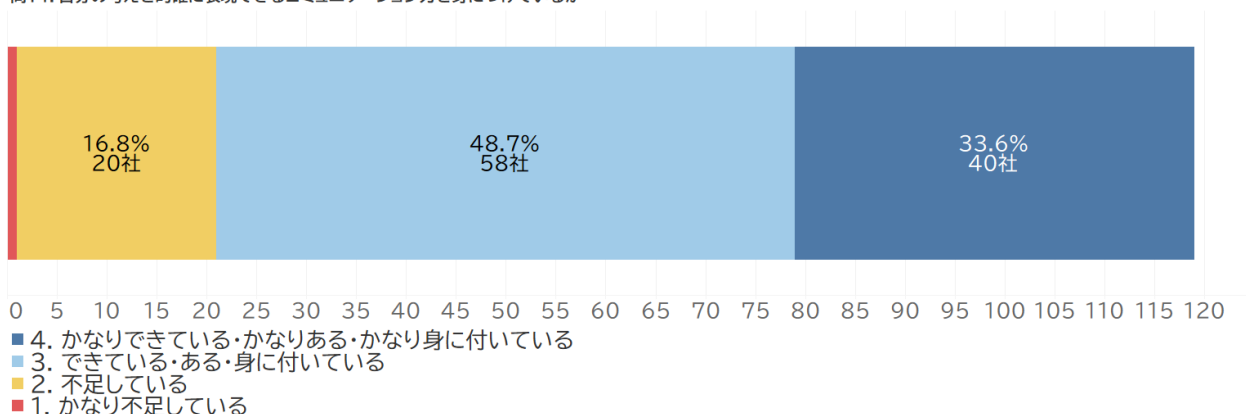
問 13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか(119 件の回答)

問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか



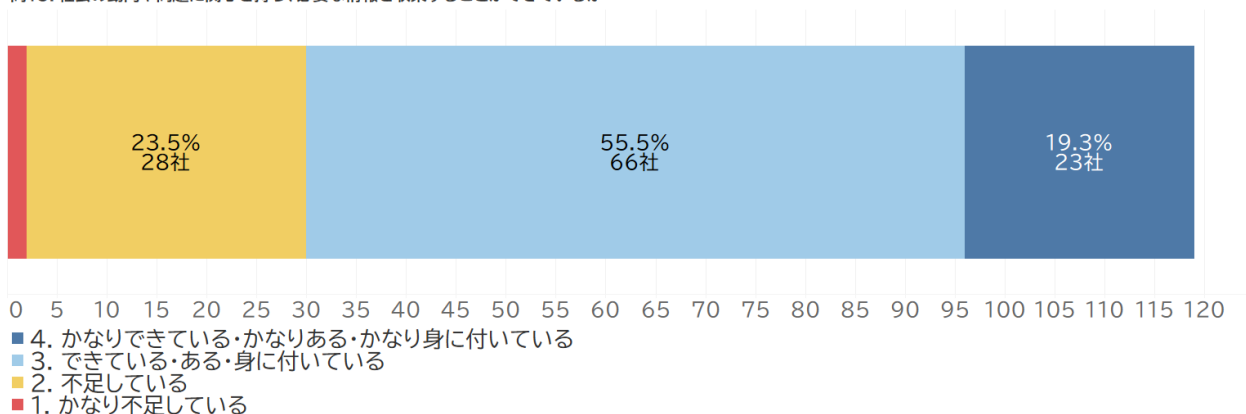
問 14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか(119 件の回答)

問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか



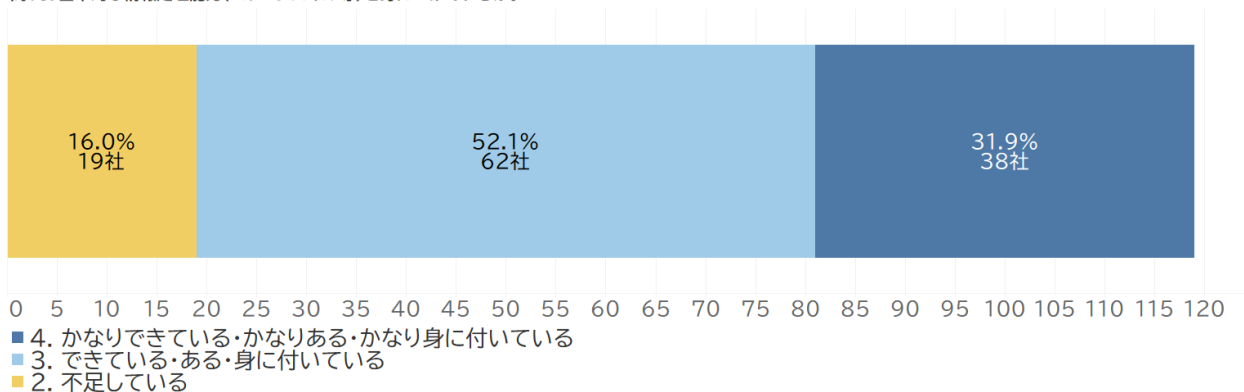
問 15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか(119 件の回答)

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか



問 16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか(119 件の回答)

問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか。

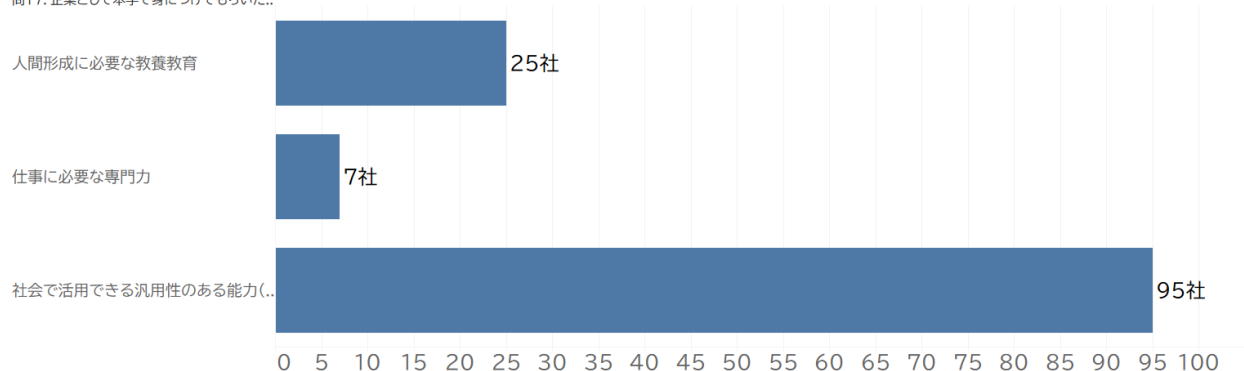


問 17. から問 18. は、本学に求めるもの、期待するものについて

問 17. 企業として本学で身につけてもらいたい能力は何ですか(1 つだけ)【127 件の回答】

問17. 企業として本学で身につけてもらいたい能力は何ですか(1つだけ)

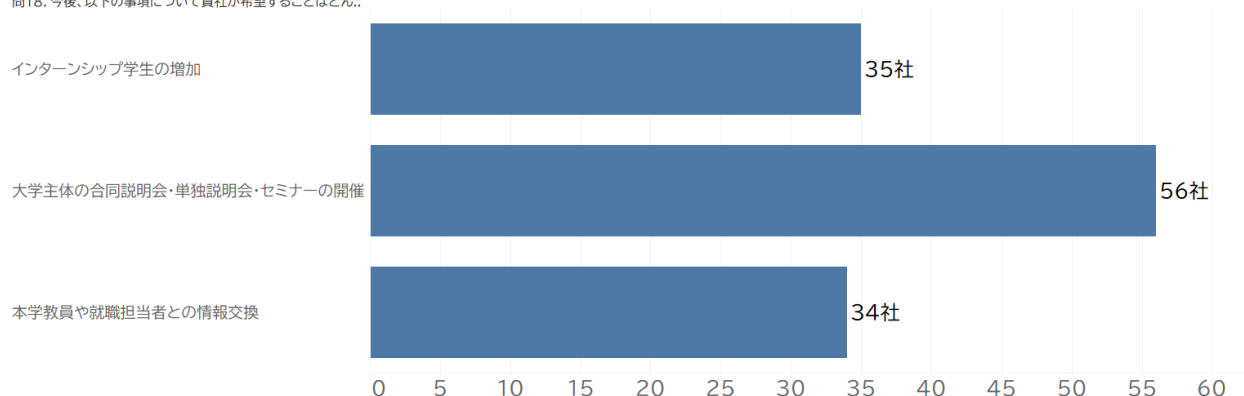
問17. 企業として本学で身につけてもらいた..



問 18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(1 つだけ)【125 件の回答】

問18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(1つだけ)

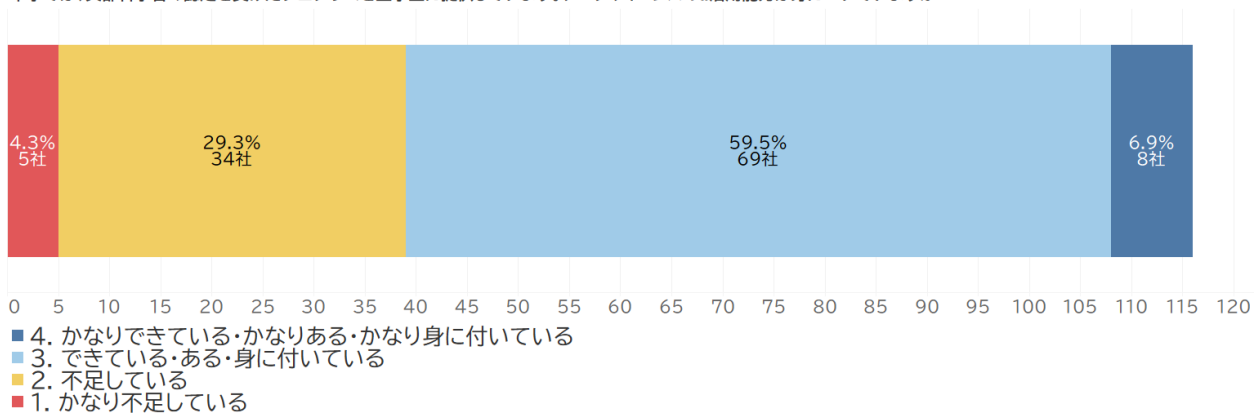
問18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどん..



(その他)問 19.AI やビックデータなどを活用する能力について(117 件の回答)

本学では、文部科学省の認定を受けたプログラムを全学生に提供しています。データサイエンス・AI 活用能力は身につけていますか

問19. Aiやビックデータなどを活用する能力について
本学では、文部科学省の認定を受けたプログラムを全学生に提供しています。データサイエンス・Ai活用能力は身につけていますか



自己評価:

問 7 は教養、問 8 は専門力、問 9、10 は汎用力の中の思考力、問 11、12 は汎用力の中の実行力、問 13、14 は汎用力の中の表現力、問 15、16 は汎用力の中の情報力について調査を行った。

教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)

(1)大学教育に必要な思考力や表現力などの基礎的素養を身につけ、本学の建学の理念、教育方針等を理解している。

(2)特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。

(3)人間と文化の探求、現代社会の多面的理解、科学技術と自然環境の理解に必要な基礎的素養を身につけ、情報処理や英語の基本的なリテラシーを身につけている。

(4)専門分野の学修を通じて、人間や社会、学問等についての基礎的素養を身につけている。

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか(83%)

※問の()内は 3、4 と回答した割合

評価(1～4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 83%で、8 割を超える雇用主から肯定的な評価をいただいた(昨年度は 81%)。そのうち最も高い 4 の評価をしたのは 28%であった(昨年度も 28%)。3 の評価は 55%で最多であった。2 の評価をしたのが 15%で昨年度 17%より減少したが、その分が3の評価に移った、すなわち若干ではあるが改善したと判断できる。ただ、全体の 2 割弱の企業が社会人としての知識・教養が十分身につけていないと判断している状況もうかがわれる。問 17 で身につけてもらいたい能力として「人間形成に必要な教養教育」と回答した企業が25社(全体の20%)いたことは無視できない存在であろう。

専門力(専門に関する基本的な知識、技能)

<社会的意義> <職業生活で評価される能力> <専門に関する能力>

問8. 専門分野で身に着けた基本的な知識・技能を活かすことができているか(77%)

評価(1～4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 77%となり、昨年度の 74%を上回った。ただし2の評価(不足している)が 24%と昨年度の23%を上回っており、プラス評価とマイナス評価がともに増加したことは、今後、卒業生の専門力の格差が開くかどうかについて注視する必要があると思われる。その一方、問 17 で身につけてもらいたい能力として「仕事に必要な専門力」を挙げた企業等は5%と少ない傾向がつついており、専門性については企業に入社してから育てるという判断もできる。

汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)

(1)思考力

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につけている。判断力、創造力、企画力などを含む。

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか(80%)

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか(79%)

評価(1～4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、問9では、3 及び 4 の評価をしたのは全体の80%、問10では 79%であった。問 9 については昨年度 79%に比べ肯定的な評価の割合が微増した。問 10 については昨年度 72%となり、7ポイントの改善が見られた。また最も高い 4 の評価をしたのは、問9で8ポイント増の24%、問10で6ポイント増の25%となったこともあり、今後、さらに改善傾向が続くのかどうか焦点となる。問 17 で身につけてもらいたい能力として汎用力をあげた企業等は 75%(95社)と例年同様高い数値が示されており、低い評価の底上げが課題である。本学の課題解決型の授業をさらに吟味して強化する検討する必要がある。

(2)実行力

自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につけている。主体性、協働力、傾聴力などを含む。

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか(55%)

問12. 組織において、他者や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか(89%)

評価(1～4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、問11では、3 及び 4 の評価をしたのは全体の55%、問12では 89%であった。問11では一昨年度及び昨年度の48%と比べ改善が見られた。問12では昨年度 88%とほぼ同水準であった。一方、2および1の評価は、問11で40%、5%、問12で10%、1%で、昨年度の問11の45%、7%、問12の11%、2%から改善した。ただ問11の2、1の合計が45%と、半数弱の本学卒業生に関してリーダーシップ資質が低く評価されていることについては、まだまだ改善させる余地があると考えられ、今後は実行力の養成を検討していくことが必要と思われる。

(3)表現力

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につけている。発信力、日本語力、外国語力などを含む。

問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか(88%)

問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか(82%)

評価(1～4)	理由
---------	----

3	質問に対する4段階評価のうち、問13では3および4の評価が全体の88%(昨年度84%)、問14では82%(昨年度79%)であった。両項目とも数値の改善が見られた。問5および問6の設問では、企業が求める能力や事柄として、コミュニケーション力や人柄が重要視されていることが明確に示されており、引き続き社会が求める人材育成に向けた教育プログラムの充実を積極的に進める必要がある。
---	--

(4)情報力

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につけている。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができているか(75%)

問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか(84%)

評価(1~4)	理由
3	問15と問16は、どちらも「情報力」に関する質問であるが、前者は情報収集能力、後者はパソコン操作能力という異なる側面を測っている。問15の評価において前向きな回答は75%となり昨年度(64%)を11ポイントも上回る結果となった。社会動向に関心を持って積極的に情報を収集できる者が大幅に増加しているのかどうかについては次年度以降の結果を見極める必要があるものの、大きく改善した理由について分析をし、それに沿った教育を続ける必要があると思われる。その一方で、問16は3ポイント減の84%となった。現代社会においては、情報活用能力全体が求められており、引き続き学生の検索スキルや情報収集評価能力の育成に力を入れる必要がある。

総評:

問17で示されたように、企業側が「本学で身に付けてもらいたい能力」の内訳は汎用力(75%)が圧倒的に多く、次いで「人間形成に必要な教養教育」が20%、「仕事に必要な専門力」が6%と低いものであった。そもそも専門力すなわち仕事のスキルは、入社してから身に付けても遅くはないし、雇用者のこれまでの経験を踏まえたなら、むしろ入社後に身に付けた方がうまくいくといった考え方が根強いことが推察される。しかし、汎用力については、入社後の雇用者側の教育で養うのは比較的困難との見方が根底にあるのではないかと。すなわち大学では、「自分で問題点を見だし、その解決方法についても柔軟性をもって判断する」ような課題解決型の授業などが必要だと考える。

また、問5の質問(企業が最も求める能力)で、「コミュニケーション」との回答が圧倒的に多かったことや、問6の質問(採用において最も重視する事柄)について「人柄」と「働く意欲」が多かったことについては、学生たちの意思改革などを図って、人と接する能力を改善させる必要があるが、サークル活動の活性化を図ったり、適切なアルバイトを紹介するなど、単に大学教育だけではなく、多面的な対策に取り組むことが望まれるのではないかと。

今後、本学が社会の変化に柔軟に対応でき、創造性と問題解決能力を備えた人材を育成し、社会に貢献するために取り組むべき課題としては次のようなことがあげられる。

- ① 実行力の強化:リーダーシップ育成プログラムの導入や、グループワークを通じた協調性の育成など、実践的な学びの機会を増やす
- ② 課題発見・解決能力の育成:問題意識を育み、自ら課題を見つけ、解決策を提案できるような能力を養成するためクリティカル・シンキングやイノベーション教育を展開する
- ③ 社会との連携強化:企業との連携を深め、インターンシップや産学連携プロジェクトを通じて社会で求められる能力を明確にし、教育内容に反映させる
- ④ 情報活用能力の育成:情報リテラシー教育とデータサイエンス教育の充実、デジタルツール活用能力の向上を図り、学生の情報収集・分析能力を強化する
- ⑤ その他:企業が求める「教養」の内容を具体的に調査・分析し、教育内容に反映させ、また企業が求める専門知識・技能を明確にし、学科ごとの特色を活かした教育を進める

資料

「問 20. その他、自由意見を記載をお願いします。」(18件の回答)

※個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

- 病院管理栄養士は、厨房では調理員、病棟では患者様や医師・看護師など様々な立場の人と連携して仕事を進めるため、高いコミュニケーション能力と協調性が求められます。また、健康をサポートする役割を担うことから、自らも健康を維持し、食生活やストレスを適切にコントロールできることが望まれます。
- 今後ともよろしくお願いいたします。
- 現在就業している卒業生の社員は責任感が強く、協調性があり、周囲からも頼られる存在です。
- 御学からはこれまで優秀な学生が採用となっており、今現在も各部署にて十分能力を発揮しているところであります。また、コミュニケーション能力に長けている方多くいるように感じられ弊社が求める人材像とも合致しております。
- 例年、優秀な学生様をご紹介いただきありがとうございます。引き続き弊社の魅力を感じていただけるよう努力致しますので、給食委託へご興味のある学生様がいらっしゃればご紹介いただけますようよろしくお願い申し上げます。
- 休暇の取り方で(急に休む、自分だけが連休を取ると他のスタッフがどうなるか、まだ有給発生前であること)など学生生活と同じ考えで過ごしてしまうところがまだあります。また、アットホームな会社ではありますが、会社の備品を買うことに関しても、承認を得なかったり、知り合いから買うなどの公私混同があり、社会ルールを教えています。
- 確り(しっかり)と先輩方と打ち解けて仕事に取り組んでくれています。
- 自社の必要とする技術力(専門分野)は入社してから教えればよいと考えています。これからも、まじめで素直な生徒、礼儀等を重んじるまっすぐな生徒を育ててください。ありがとうございました。
- 学生も様々な方がいるので一概には言えませんが、個性あふれる人材をこれからも育成していただければと思います。また、保育士や幼稚園教諭養成課程の四年制課程が今後必要かと思うので、それを進めてほしいと思っています。
- 本年1名採用致しました。専門知識は、専門学校卒の生徒さんにははっきり言って劣りますが、一時的な事と思っております。本人も悩みながらも、頑張っております。今後4年制の大学卒の方へ求

めるのは、社会人としての視野の広さと思っております。弊社も中小企業ですが、自由度と可能性を持って経営をしていく所存です。伸びしろを感じる学生さんを求めます。宜しくお願いします

- 今後も御校と連携して地域医療介護を担う人材確保、支援に取り組みたいです。引続きご要望等あれば、協力していきたいと考えております。
- 傾聴力も備えており、業務に真摯に取り組んでいる。
- 25 卒に引き続き 26 卒におかれましても多数のご応募ありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します
- キャリア支援室との連携を今まで以上にし、情報共有の継続をし、人材獲得に向けて取り組んでまいります。引き続きよろしくお願い致します。
- 宮崎県では、このような教師を求めています
 - ◎ 子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、子どもとの信頼関係を築くことができる。【愛情と情熱・使命感】
 - ◎ 分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成するなど高い専門性を身に付けている。【高い専門性】
 - ◎ 社会人としての幅広い教養と良識や倫理観、心の豊かさを身に付けている。【幅広い社会性、倫理観、人間性】
 - ◎ 絶えず学び続け、自らの資質能力を高めている。【学び続ける姿勢】
- 引き続きよろしくお願い致します。
- 特になし
- 引き続き宜しくお願いします

1. 目的

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行ない、かつ、成績評価を含めた複数の方法で学生の学修到達状況を多角的・総合的に評価することによって、教育の質の向上及び教育の質の保証を行う。

2. 成績評価

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、シラバスに明示した授業の到達目標及び評価方法並びに学科履修規程に明記された成績評価の区分によって、厳格で客観的・公正な成績評価を行う。

3. 成績評価を含めた多角的な学修到達状況の評価

別府大学は、2の成績評価に加え、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、各学科・課程等(学位又は教育プログラム策定単位)を基本に、その学修内容等に応じ、下記から選択した複数の方法で学生の学修到達状況や達成すべき質的水準を多角的・総合的・客観的に検証(測定)・評価する。このことによって、ディプロマポリシー(学修到達目標)を起点としたPDCAサイクルを回し、授業内容、授業方法、評価基準、カリキュラム、入学者選抜などについて改善を図るとともに、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの各ポリシーについて必要な見直しを行う。さらに、学修成果(到達目標)の達成度評価を集約し、別府大学全体の学修成果の達成状況を評価する。

① ポートフォリオ学修支援システムでの「学生による評価」

学生自身が、ポートフォリオ学修支援システムを利用して、学修成果(到達目標)の達成度を自己評価する。

② 口頭試問での「教員による評価」

卒業時に修得することが期待される学修成果(到達目標)を、卒業論文・卒業制作発表会または口頭試問によって評価する。

③ まとめ試験による「客観評価Ⅰ」

科目区分毎に「まとめ試験」による内部アセスメントテストを行い、修得することが期待される学修成果(到達目標)について達成度を確認する。

④ アセスメントテストによる「客観評価Ⅱ」

客観的な評価を行うために、外部テストなどを利用したアセスメントテストによって、学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

⑤ 卒業生調査による「卒後評価」

別府大学教育への評価、職業生活や社会生活での必要な知識と能力、別府大学への希望などについて、卒業生への調査を行うことで、学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

在学生においては、実習先訪問や実習連絡会議等を通して、学外実習先の企業や施設などでの学生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。卒業生においては、就職先の企業等での卒業生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。

⑦ 卒業時における学修成果達成度調査

卒業年次生を対象に、本学のディプロマ・ポリシーに掲げられた目標がその程度達成できたかについて評価する。

⑧ CP 等(カリキュラム・ポリシー)に基づく教育課程プログラムの成果の検証

各科目や学科ごとの GP の分布を調査し、その結果に基づき、問題点はないかを検証する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

目的:別府大学アセスメント・ポリシーでは、評価指標⑥として「地元社会・産業界からの『外部評価』」を定めている。これに基づき、「令和元年度雇用主アンケート」の結果から DP 達成度を評価し、本学の教育・研究上の課題を明らかにする。

実施方法

1. 「令和 6 年度雇用主アンケート」の結果に基づき、別府大学のすべての学部・学科の学生が共通して身につけることとしている①教養 ②専門力 ③汎用力について、それぞれ 4 段階で到達度を評価する。
2. 4 段階の評価基準は、以下の表のとおりとする。

評価	評価の基準
4	DP の達成度が 80%以上
3	DP の達成度が 60%以上 80%未満
2	DP の達成度が 40%以上 60%未満
1	DP の達成度が 40%未満

3. DP の 3 つの力について、達成度についての総評を行う。

評価結果の集約:各学科・部署で実施するアセスメント・ポリシーに基づく調査等の結果は、IR センター運営委員会が集約する。

評価結果の報告・公表:評価結果は学長への報告後、大学企画運営会議で報告し、別府大学ホームページ上に公開する。

企業等へのアンケート調査依頼文

令和7年 7 月24日

採用ご担当者各位

別府大学
学長 友永 植

アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本学学生の就職活動及び採用につきまして格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別府大学では、企業・団体等の採用担当者の皆様を対象にアンケート調査を実施しております。本学学生の採用にあたって、貴組織に必要な人材となるための力について等のご意見をお伺いし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。

つきましては、下記の方法にて実施いたしますので、ご多用中大変恐縮ですが、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的
各企業・団体の採用担当者の皆様に、本学学生の採用や仕事面における必要な人材についてご意見をお伺いし、今後の教育力の向上や改善に活かしたいと存じます。
2. 調査対象
本学卒業生の就職先
3. 回答期限
令和7年 8 月18日(月)
4. 実施方法、回収方法
URL または QR コードを用いて、インターネット上のアンケートページにアクセスして回答する。
※なお、回答は機械的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

URL: <https://forms.gle/BQoCSonUd2wUBXC5A>

以上



<問い合わせ>
〒874-8501 大分県別府市
北石垣82
別府大学キャリア支援センター(安部・満留)
Tel:0977-66-9623

別府大学卒業生に関するアンケートご協力のお願い

このたび企業・団体等の採用担当の皆様を対象にアンケート調査を行うこととなりました。本学学生の採用や仕事における必要な能力についてご意見をおうかがいし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

尚、回答は統計的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

問1. 本社所在地

1. 大分県 2. 福岡県 3. 宮崎県 4. 熊本県 5. 佐賀県 6. 長崎県 7. 鹿児島県
8. 沖縄県 9. 中国・四国地区 10. 関西地区 11. 関東地区 12. 上記以外の地区

問2. 従業員(職員)規模

1. 20人以下 2. 21~50人 3. 51~100人 4. 101~300人
5. 301~1000人 6. 1001人以上

問3. 主たる業種

1. 農・林・水産 2. 建設 3. 製造(食品・飲料) 4. 製造(食品・飲料以外) 5. 情報・通信
6. 広告・メディア 7. 運輸・郵便 8. 卸・小売 9. 金融・保険 10. 不動産・物品貸借
11. 宿泊 12. 飲食サービス 13. 教育・学習支援 14. 医療・福祉 15. 上記以外のサービス業
16. 公務 17. その他

問4. 本学からの採用実績

1. なし 2. あり(5年以内) 3. あり(5年超または時期不明)

問5-1. 貴社が最も求める(重視する)能力はどのような能力ですか

1. 課題発見・解決力 2. コミュニケーション力 3. 教養 4. 専門知識 5. 行動力 6. 責任感
7. 積極性・主体性 8. 協調性 9. 表現力(プレゼンテーション力) 10. 外国語能力

問5-2. 貴社が2番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか

1. 課題発見・解決力 2. コミュニケーション力 3. 教養 4. 専門知識 5. 行動力 6. 責任感
7. 積極性・主体性 8. 協調性 9. 表現力(プレゼンテーション力) 10. 外国語能力

問5-3. 貴社が3番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか

1. 課題発見・解決力 2. コミュニケーション力 3. 教養 4. 専門知識 5. 行動力 6. 責任感
7. 積極性・主体性 8. 協調性 9. 表現力(プレゼンテーション力) 10. 外国語能力

問6-1. 採用において最も重視する事柄は何ですか

1. 人柄 2. 働く意欲 3. 熱意 4. 社風への適合性 5. 専門能力 6. 協調性
7. 情報処理力 8. 筆記試験の成績 9. インターンシップ経験

問6-2. 採用において2番目に重視する事柄は何ですか

1. 人柄 2. 働く意欲 3. 熱意 4. 社風への適合性 5. 専門能力 6. 協調性
7. 情報処理力 8. 筆記試験の成績 9. インターンシップ経験

問6-3. 採用において3番目に重視する事柄は何ですか

1. 人柄 2. 働く意欲 3. 熱意 4. 社風への適合性 5. 専門能力 6. 協調性
7. 情報処理力 8. 筆記試験の成績 9. インターンシップ経験

(本学からの採用実績がある企業様へ、本学からの採用者について、問7~16について1~4で回答してください)

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか

不足している ←————→ 身につけている
1 2 18 3 4

問8. 大学の専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができるか

不足している ← 1 2 3 4 → できている

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか

不足している ← 1 2 3 4 → ある

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

不足している ← 1 2 3 4 → ある

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか

不足している ← 1 2 3 4 → できている

問12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか

不足している ← 1 2 3 4 → できている

問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

不足している ← 1 2 3 4 → 身につけている

問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

不足している ← 1 2 3 4 → 身につけている

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

不足している ← 1 2 3 4 → できている

問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか

不足している ← 1 2 3 4 → 身につけている

○本学に求めるもの、期待するものについて

問17. 企業として本学で身に付けてもらいたい能力は何ですか

1. 人間形成に必要な教養教育
2. 仕事に必要な専門力
3. 社会で活用できる汎用性のある能力
(論理性・主体性・判断力・企画力・コミュニケーション力・リーダーシップ等)

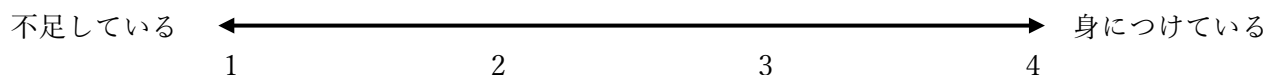
問18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

1. 本学教員や就職担当者との情報交換
2. インターンシップ学生の増加
3. 大学主体の合同説明会・単独説明会・セミナーの開催

○その他

問19. AI やビッグデータなどを活用する能力について

本学では、文部科学省の認定を受けたプログラムを全学生に提供しています。データサイエンス・AI 活用能力は身についていますか



問 20. その他、自由意見を記載をお願いします。

別府大学卒業生に関するアンケートは以上になります。回答ありがとうございました。